

## 1. 調査報告概要表

## 【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成19年10月19日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2774500835
法人名	社会福祉法人 アムリタ
事業所名	グループホームアムリタ
所在地	泉佐野市長滝842番地1 (電話) 072-466-6111
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成19年10月1日

## 【情報提供票より】(平成19年9月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成15年10月1日
ユニット数	1ユニット 利用定員数計 9人
職員数	9人 常勤 5人, 非常勤 4人, 常勤換算 7.0人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	4階建ての 3階 ~ 3階部分

## (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000円	その他の経費(月額)	15,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000円			

## (4) 利用者の概要 (平成19年9月1日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	0名	要介護2		4名	
要介護3	5名	要介護4		0名	
要介護5	0名	要支援2		0名	
年齢	平均 86.4歳	最低	78歳	最高	96歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人栄公会 佐野記念病院、医療法人岸村歯科医院
---------	---------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

社会福祉法人が運営するグループホームで、介護老人福祉施設、デイサービスセンター、ヘルパーステーション、診療所が併設されています。「家庭的な雰囲気」「居心地のいい空間」「その人の可能性を見出そう」「地域でイキイキ」を理念として掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながら、その人らしく暮らしていけるよう支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、言葉かけや態度は明るくやさしい雰囲気です。看護師資格のある管理者は、利用者のかかりつけ医師や協力病院の医師から適切な医療を受診できるよう支援を行っています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価の指摘事項について改善が進み、職員同士の申し送り方法が改善され、職員間の情報の共有化が進んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、管理者と職員で話し合い、意見交換しながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は泉佐野市担当職員、地域包括支援センター職員、民生委員、家族、利用者の参加のもとで、2ヶ月毎に開催しています。会議では運営状況や生活ぶり、ホームの事業計画、外部評価の結果や自己評価の説明をし、ホームと地域の交流を深める方法について話し合っています。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族が訪問する機会は多く、面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、行事についても写真とともに報告を行っています。利用者の健康や安全に関わる事項については、その都度家族へ電話で報告をしています。毎月たより「グループホームアムリタ」を発行し送付しています。預かり金については出納帳を作成し、収支と残金について定期的に家族の確認を得ています。家族とは面会時にできるだけ会話をし、定期的に家族会を持つなどして家族が希望や願い、不満を表せるように対応するとともに、意見箱を設置し、家族の意見を表せる機会を設けています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 運営推進会議を通じて地域との相互理解が進み交流が深まっています。利用者は通学路になっているホームの玄関前で登校する児童の「見守り隊」となって挨拶運動をしたり、小学生の慰問訪問を受けたり、民生委員の紹介で地域で運営するサロンに参加できるようになっています。だんじり祭りや枕祭りのときには休憩所として場所の提供をしています。

## 2. 調 査 報 告 書

(        部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的な雰囲気」「居心地のいい空間」「その人の可能性を見出そう」「地域でイキイキ」を理念として掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしく暮らしていけるよう支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化してホーム内に掲示されています。理念を念頭に課題別の業務目標を定めた「事業計画」を管理者と職員とで策定し、理念を共有しながらその実践に向けて日々取り組んでいます。行事や新しいことを始める際は、理念に沿っているかどうか検討することからスタートしています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	運営推進会議を通じて地域との相互理解が進み交流が深まっています。利用者は通学路になっているホームの玄関前で登校する児童の「見守り隊」となって挨拶運動をしたり、小学生の慰問訪問を受けたり、民生委員の紹介で地域が運営するサロンに参加できるようになっています。だんじり祭りや枕祭りの時には休憩所として場所を提供しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について改善が進み、職員同士の申し送りの方法が徹底され職員間の情報の共有化が進んでいます。自己評価は、管理者と職員が話し合い、意見交換しながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は泉佐野市担当職員、地域包括支援センター職員、民生委員、家族、利用者の参加のもとで、2ヶ月毎に開催しています。会議では運営状況や生活ぶり、ホームの事業計画、外部評価の結果や自己評価の説明をし、ホームと地域の交流を深める方法について話し合っています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は、市や地域包括支援センターの担当者との意見交換や相談の機会が多く、困難事例の受け入れや相談にもなっています。地域包括支援センターの職員研修の受け入れや、地域の老人会が運営する長生大学(老人大学)に講師を派遣したりしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が訪問する機会は多く面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、行事についても写真とともに報告しています。利用者の健康や安全に関わる事項については、その都度電話で家族への報告を行っています。毎月たより「グループホームアムリタ」を発行し送付しています。預かり金については出納帳を作成し、収支と残金について定期的に家族の確認を得ています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時にできるだけ会話をし、定期的に家族会を持つなどして、家族が希望や願い、不満を表せるように対応するとともに、意見箱も設置し、家族の意見を表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	この1年間で非常勤職員の離職率は高く、新人職員の採用では利用者との対人関係で問題がないかどうかの判断を十分に行い、採用時研修ではマンツーマンによるトレーニングで強化を行い、利用者への影響は最小限に抑えられています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホームの研修に対する取り組みは熱心で、職員の資格取得を奨励し支援しています。法人内研修を計画的に2ヶ月毎に行いホーム職員も参加しています。外部研修についても認知症の実践者研修等に参加し、月例の法人全体職員会議で伝達研修を実施しています。ホーム内でも勉強会を定例的に実施し虐待防止、行動制限やリスクマネジメント等について研修しています。年6回以上の研修に緊急時対応、認知症、感染症が含まれています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入し相互研鑽に努めるとともに、近隣のグループホームとも定期的に職員の相互研修を実施し、サービスの質を向上させていく取り組みをしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には職員が施設や家庭訪問を実施し、利用者や家族のホームの見学や数回の昼間の体験入居を通じて馴染みの関係を作り、家族や本人の不安を取り除き、安心して入居しサービスを受けられるように取り組んでいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は、利用者と共に過ごし学び支えあう関係を目ざし、家事の役割分担を行うとともに、茶道の得意な利用者を中心にお茶会を開いたり、野菜作り経験のある利用者に菜園の収穫時期を決めてもらう等、それぞれが得意な役割を持ち生き活きと活躍できるよう支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎朝居室でお抹茶をたて、月に2回ホームで他の利用者とお茶会を楽しむ利用者、入居前の習慣から毎日午前と午後2回昼寝を楽しむ利用者、早朝居室の掃除をしたり、朝食はパン食を希望される利用者にはパンを提供する等、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望に沿い、生き活きと生活を楽しめるように利用者の生活を支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居直後の2週間は「初期行動観察表」や「できること・できないこと」シートによる現在の暮らしや、心身の状況、生活歴からアセスメントを行い、医師の意見、利用者と家族の意向・願いを反映した介護計画を作成し、家族の同意も得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には6ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。援助結果は毎日モニタリングを行い、「ケアプラン評価表」に記録し、3ヶ月毎のカンファレンスで最終評価を行い介護計画の見直しにつなげています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	看護師資格のある管理者は 利用者のかかりつけ医師や、 協力病院の医師による受診体 制の整備を行っています。また、 必要により通院介助も行ってい ます。地域の長生大学への講 師派遣やボランティアの受け入 れも行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られた、かか りつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受け られるように支援している	利用者や家族の希望により、 以前からのかかりつけ医（医 療機関）で引き続き医療を受 けている利用者もいます。協 力病院と連携し夜間や急変時 の対応についての体制整備も 整っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方 針の共有 重度化した場合や終末期のあ り方について、できるだけ早 い段階から本人や家族等なら びにかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有 している	現在対象となる利用者はい ませんが、重度化した場合の 対応についてホームと家族・ 利用者、医師が話し合い、全 員が方針を共有しています。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面で取り決めを行い、法人の個人情報保護会議にも出席して意識を高めています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと好きなことをしながら暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。利用者のペースに合わせて、食事の時間をずらしたり、朝食はパン食を好む利用者に合わせ、毎朝パン食を選択できるように調整しています。毎日午前と午後2回昼寝を楽しむ利用者や早朝居室の掃除をする利用者等、利用者一人ひとりのペースが保てるよう支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝食は併設特養から調理済みの食事を取り寄せ、昼食と夕食は併設特養から取り寄せた食材をホームで調理し、下ごしらえ、調理、後片付けに至る一連の流れを利用者も参加しながら楽しんでいます。毎日のおやつは利用者の好みで決められ、買物、おやつ作りを楽しんでいます。職員は同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しく和やかな雰囲気を作っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は週に4日設けており、利用者は週に2～4回ゆっくり寛いだ入浴ができています。利用者の状況によりシャワー浴を追加して取り入れています。希望があれば毎日でも入浴は可能ですが、今後は体制や雰囲気づくりを検討していくことが望まれます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	多くの女性利用者は一日の生活の中で家事にそれぞれの役割を見つけ張り合いのある生活を送っています。地域のボランティアによる華道の会に参加し、季節の花で生けた作品をホームに持ち帰って飾ったり、利用者も家族と一緒に外部の書道教室やアートフラワー教室に参加して日々を楽しんでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買物に出かけ、季節によってお花見や藤棚見物、遠足にも出かけています。利用者一人ひとりの外出支援も実施しており、生家を訪ねたり、墓参りをしたり、知り合いのお見舞いや孫の経営する中華料理店、ゲームセンター等に出かけています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	エレベーターは電子ロックされていますが操作盤に暗証番号が表示され、フロアドア、玄関ドアには日中の時間帯鍵はかかっています。職員の見守りで利用者は自由に外出ができるようになっています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のマニュアルが作成され、年2回消防署の指導で消防避難訓練を実施しています。泉佐野市の総合防災訓練にも参加しています。食料と水の備蓄については法人全体で対応しており、同一建物内の特養でホーム分の非常食と水が確保されています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し記録をとっています。栄養バランスについては併設特養の管理栄養士からアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周りには季節の花、観葉植物、手作り作品が飾られ訪ねやすい雰囲気になっています。広いリビング兼ダイニングルームは中央にガラス張りの吹き抜けがあり、周りを廻れる回廊式で、窓越しには木床のテラスが見えベンチや花、菜園もあって大変明るくオープンな景観になっています。居間には新聞や雑誌、レクリエーション用具、生け花があり、ソファも置かれ居場所も確保されていて落ち着いた雰囲気になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはホームが提供したベッド、洋服ダンス、整理ダンスの他、利用者が持ち込んだダンス、収納ケース、和机、椅子、飾り棚、タペストリー、アートフラワー、カーペット、茶道具、俳画、花、装飾品、家族の写真など使い慣れた馴染みの古い物や生活用品があり、利用者が安心して過ごせる場所となっています。		